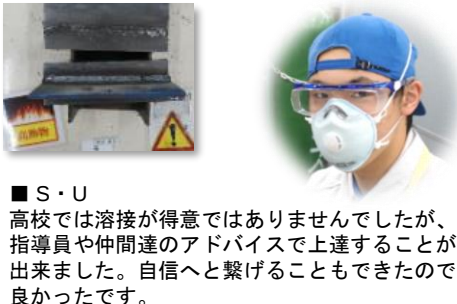


◆ 被覆アーク溶接実習 1班 10～14日、2班 3～7日

被覆アーク溶接実習は、溶接機の使用前点検方法や正しい保護具の着用を学び、実技訓練を行います。実技訓練はアークの発生とビード置き、練習から始まり、突合せ、角、重ね、隅肉の溶接方法を繰り返し練習します。



溶接ビードを確認しながら、どうすれば良くなるのか考えながら繰り返し練習していきます。



■ S・U
高校では溶接が得意ではありませんでしたが、指導員や仲間達のアドバイスで上達することが出来ました。自信へと繋げることもできたので良かったです。



◆ PLC基礎実習 2班 17～21日

押し釦やリレー、タイマーなどの電気制御機器の原理や配線方法を学び、ランプの点滅回路や、動力回路等を有接点回路で組み上げていきます。



制御回路を設計し電気回路図面を作成後、実際に電気配線から動作確認まで行っていきます。



分かるまで何度も教えてもらいます。

■ S・K
この実習で基礎知識を楽しく学べることが出来ました。次の回路作成に向けて復習し、現場で仕事することをイメージしながらプログラム入力作業を行いました。

◆ 機械要素実習 1班 24～28日



“スピンドルボックス”と呼ばれる工作機械の主軸を模した装置の分解・組み付け・調整をおこないます。

- ①正しい工具の使い方、要素部品の構造や役割
- ②主軸ベアリングの予圧調整
- ③ベルトやチェーンのテンション調整など調整に関する“感覚”も実習します



■ S・T
機械を構成する部品の名称や役割を学びながらスピンドルBOXの分解・組付けを楽しみながら実習を終えることが出来ました。



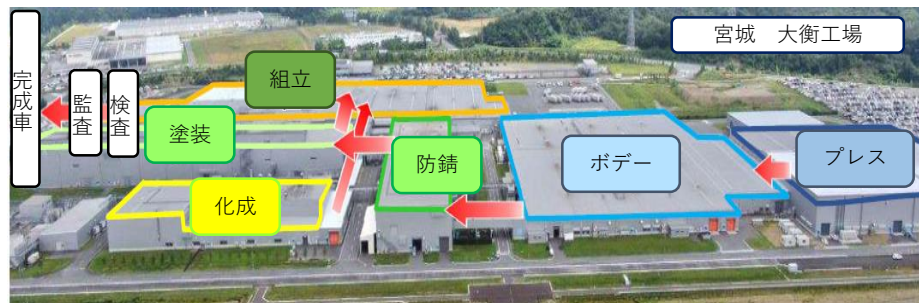
7月～9月 クラス目標 決定

～新たな目標をみんなで話し合い決めました～

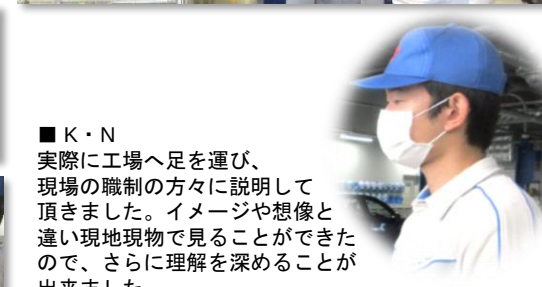
常に向上心を持ち続けよう

これまでの成長に満足することなく、さらなる高みを目指そうという決意が込められています。

◆ 学科（自動車製造）1班 3～5日、2班 10～12日



自動車が完成するまでを座学だけでなく、実際に各ショップに行き、現地現物で学びます。製造現場を肌で感じ、配属後の働くイメージが湧く機会となりました。説明して頂いた各ショップの方々、分かり易く丁寧な説明をして頂き、ありがとうございました。



■ K・N
実際に工場へ足を運び、現場の職制の方々に説明して頂きました。イメージや想像と違い現地現物で見ることで、さらに理解を深めることが出来ました。

◆ クラブ活動 陸上競技 バスケットボール

8/31-9/1開催の全豊田訓練生総合競技大会はトヨタグループの企業内訓練校11校が集結し「文化」「体育」の2部門で競い合う大会です。体育の部では陸上競技とバスケットボールにエントリーしました。クラブリーダーが練習メニューを企画して、全員で声を掛け合いながら安全に活動しています。



砲丸投げ

陸上競技

バスケットボール

100m 200m

100m 200m

400m

100m



このメンバーは400m リ-にもエントリー

目標
メダル獲得!

◆1日(土) みつばち蜜源花畑作業(2回目)

前回の続きで耕作地の土壌を整えヒマワリの苗を植えました。
昼食にピザ窯で焼いたとても美味しいピザをご馳走になりました。
一緒に参加していた地元の方々と交流をすることができました。



いつも
美味しい
(^▽^)/

イベント特別号

◆9日(日) SUGO スーパー耐久 3時間レース観戦



ド迫力!



■ H・Y
実際にレースを観戦し、すごい
迫力で感激しました。
モリゾウ選手の姿も見ることが
出来て貴重な体験となった1日でした。



◆23日(日) TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge in 利府 ボランティア&レース観戦

当日は午前と午後の交代制でボランティア活動とレース会場での観戦などを楽しみました。

宮城県総合運動公園「グランディ・21」



TMEJブース前で記念撮影



キッズバイク



コ・ドライバーで出場した
8期卒 K先輩を応援しました。



■ M・N
多くの子供達とふれあい、子供達の笑顔を見れました。
「ありがとう」の一言がとても嬉しい気持ちになり、
元気をもらえた1日となりました。



キッズエンジニア
(タイヤ交換補助)



力を合わせて「よいしょ」



大勢の人で少し緊張気味の様子でした。



迫力満点!

◆29日(土) 30日(日) 親子工作教室

宮城県とTMEJ共催による親子工作教室に、お手伝いとして学園生も参加しました。開催9回目となる今回のテーマは『燃料電池ミニバギー』です。
県内から75組の親子が参加し、学園生が小学生にアドバイスをしながら工作を進めていきます。



参加された皆さんに喜んでもらい貴重な体験ができました。

最後までケガなく安全に作業してもらうことができました。